

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い十分なベースを確保
	2	職員の配置数は適切であるか	○		児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員を配置
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		事業所内は全て段差が無い構造になっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃、除菌に心掛けている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日、朝礼、終礼時にスタッフ全員でミーティングをして情報共有、振り返り、個別支援計画の確認をおこなっている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、評価表を実施している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施していない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修に参加、各職員の知識、技術向上に努めている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々の変化を記録し、個別支援計画を作成している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		朝礼時に個別支援計画の確認。終礼時に個別支援計画での実施した内容の確認
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎月、全員で集まり月の目標、プログラム、ねらいの会議を行い、日々のプログラムを朝礼時に確認、終礼で反省点などの洗い出しをおこなっている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		日々の変化を記録し、プログラムも同じスタッフが決めないようにローテーションで変えている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		一人一人の目標に沿った計画を立案している
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼時のミーティングで個別支援計画、支援内容を全員で確認
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼時のミーティングで一人一人の運動時の様子、個別支援計画の確認、反省点の確認
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		全ての利用者のケース記録を残し、その日のスタッフ全員で読み合わせ確認、各々が気付いた点を付き足している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、管理者、代表者の1名が参加している	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	医療的ケア児を受け入れていない。	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	医療的ケア児を受け入れていない。医療スタッフ体制もない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	お子様によっては当事業所で作成したケース記録をコピーして園に渡し共有している。希望があれば園に出向きお子さんの課題などを共有確認している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	お子様によっては当事業所で作成したケース記録をコピーしてお渡ししている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	現状はコロナ禍の中での開催は少ないが、オンライン会議など参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	発達の状況や課題は療育終了後に保護者に伝え共有している
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○	療育終了後などに機会があれば伝えていく。要望の際にも都度伝えていく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約の際に行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	保護者からの悩み等に関する相談は都度共有している。保護者からの内容によっては相談室で療育中、療育を行っていない時間帯に別途行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	速やかに対応すれ用に心掛けている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	会報は発行していない。必要に応じて手紙を配布している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報は鍵付きキャビネットに入れ管理している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	マニュアルを作成しスタッフには周知している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	クラスや曜日を変更して年2回、実施している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	契約の際に詳しく聞いて確認している。また様子など随時保護者に確認している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	該当者なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	終礼時のミーティングで話し合い記録。都度対策をおこなっている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	東京都、荒川区主催の研修に参加。参加したものが講師となり内部研修を行っている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	基本的に身体拘束はしないが他児に危害が及ぶ場合は別室でクールダウンしてスタッフと過ごす